

GCC 諸国に展開するイスラム銀行の規模の経済性と範囲の経済性

筑波大学 上山 一

GCC 諸国のイスラム銀行を対象とした実証分析、特にその経営構造に着目し、分析を行った研究は少なく、また、その評価には一致した見解が得られていない。本研究では、まず、個別銀行の財務データを利用して、GCC 諸国におけるイスラム銀行の費用構造を比較分析によって明らかにした。次に、分析結果を踏まえて、その費用構造を計量分析によって明らかにした。本報告は、以下の内容から構成される。

①GCC 諸国のイスラム銀行を取り巻く市場環境に加え、2001年から2010年までの10年間に亘るイスラム銀行の財務データを用いて、イスラム銀行部門の動向を明らかにする。次に、②イスラム銀行の費用関数の推定に関する先行研究をレビューした後、本稿で用いられる推定モデルと推定方法について説明する。そして、③記述統計から得られる特性について整理した後、費用関数の推定結果から、規模の経済性と範囲の経済性の有無を検証することによって、イスラム銀行部門の費用構造を考察する。④イスラム銀行の財務体質や2008年中盤以降の国際金融危機がイスラム銀行の費用に与えた影響を評価する。⑤本報告のまとめと分析結果が持つインプリケーションについて述べる。